

名大の時間

地域と協働を「ゲートボール」で

部に制約はあるものの3年次の「地域との協働Ⅲ」などの連携教育科目も始まりました。この科目の前半では、コミュニティケア教育研究センターの関根昭セン

ター長より、リーダーシップを身につけるためのマネジメン

ト論についてレクチャーを受けました。日常生活での身近な例をもとに、組織の中でのよう

に行動すると目的が達成できるのかについて学

ぶことができま

した。次に私たちは、地域とつながる試みとして「ゲートボール」を選びました。本来でしたら最終目標は地域のみなさまとの交流なのですが、現時点ではまだ学内活動となっています。5回の活動のうち、初回にはゲートボール発祥の地が北海道芽室町であったことや競技のルールと技術などについて学び、練習を始めまし

た。

た。徐々にルールへの理解も深まり、自分たちだけで作戦を考え、それを遂行できる技能を磨きました。天候の関係で屋内と屋外という2種類の方法を体験しましたが、同じ競技でも使用球、打撃感覚、ボールの転がり方などに違いがありました。

中盤の活動では、「地域との協働Ⅱ」の2年生と合同で試合を行いました。ゲートボールをしたことのない人が多く、はじめは打ち方などについて基本的な支援を行い、楽しんでもらえる工夫を考えました。最後のほうでは、対戦を重ねたことで、2年生から「こうすると勝てるかも」といった発言もみられるようになりました。

3年生の活動が2年生よりも先行した関係で、自分たちが先に習得してきた戦

略をアドバイスし、

交流を進めていきま

した。



年度は活動制限が緩和され、学科や学年を超えた私たちと地域の方々が楽しく交流ができるようになることを願っています。

今回は限られた範囲での活動にとどまっていますが、活動を通して楽しい思い出と今後の普及に必要な経験値を得ることができました。来

年度は、コロナ禍により動画コンテンツの視聴が中心でしたが、今年度は一

栄養学科 西村友

看護学科 白間夢生、新家花梨、辻さくら

社会保育学科 木村公香、松田綾華